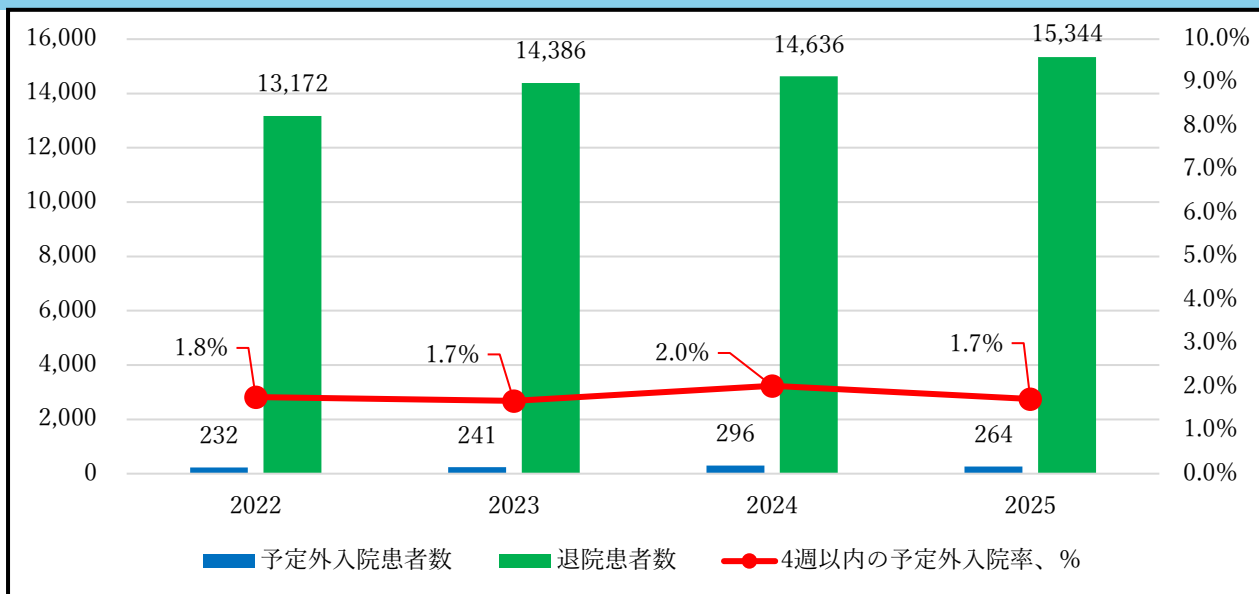
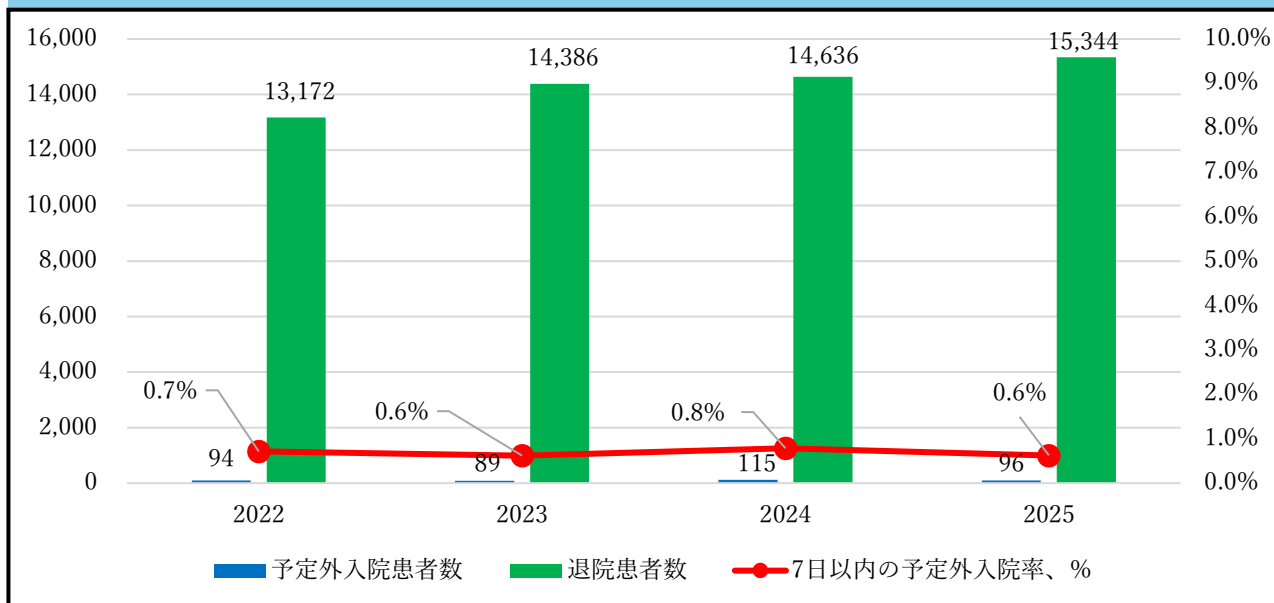


6. 退院後予定外再入院率

退院後 4 週間以内の予定外再入院率



退院後 7 日以内の予定外再入院率



➤ 指標の説明

退院直後の予定しない再入院率も病院が提供する医療の質の指標となります。退院時の治療が不十分ではないか、また、回復が不完全な状態で早期退院を強いていないかといった指標となります。この数値が低いほど、患者が十分な治療を受けて退院していること、また、十分な退院指導を受けていることを示します。

➤ 定義

【退院後 4 週間以内の予定外再入院患者率】

分子：退院後 4 週間以内の予定外再入院患者数

分母：生存退院患者数

【退院後 7 日以内の予定外再入院患者率】

分子：退院後 7 日以内の予定外再入院患者数

分母：生存退院患者数

➤ 評価

当院における退院後再入院率は、7 日以内では 2022 年度 0.7%、2023 年度 0.6%、2024 年度 0.8%、2025 年度 0.6%、4 週間以内では 2022 年度 1.8%、2023 年度 1.7%、2024 年度 2.0%、2025 年度 1.7%と低い水準で推移されています。

参考までに、日本病院会の集計によると、2023 年度の 500 床以上の病院における退院後再入院率の中央値は、7 日以内で 1.1%、4 週間以内で 3.0%であり、当院の数値は全国中央値と比較して低水準にあります。

退院後予定外再入院率が増加する要因としては、高齢患者の割合増加や複数疾患を有する患者の増加、在宅療養・介護体制への移行に伴う支援上の課題などが考えられます。そのため、退院支援体制の一層の強化、地域包括ケアシステムとの連携強化、ならびに退院後フォローアップの充実を図ることで、再入院率を抑え、より安心して退院いただける体制を整備してまいります。